様式第9号（第9第1項関係）

公の施設の管理運営業務に係る指定管理者の自己評価及び担当課評価

1　基本情報

	市担当課記載欄	指定管理者記載欄

施設名	天童市立旧東村山郡役所資料館	
施設の設置目的	市民の歴史及び文化に対する理解や関心を深め、もって地域文化の振興に寄与する。	
指定管理者の名称	公益財団法人天童市文化・スポーツ振興事業団	
選定方法及び指定期間	（公募）・非公募による選定	指定期間　令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）
管理運営上の目標（管理運営上の指定管理者の具体的目標）	指標名	年間入館者数
	指標設定の趣旨	資料館の利用状況を確認するため、利用人数を指標とする。
	今年度の目標値	年間入館者数　5,000人

2　利用状況

利用状況等の推移		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	資料館の年間利用者（無料入館者を含む）	3,614	4,066	4,664	5,154
	資料館の年間利用者のうち無料入館者	1,176	1,155	1,675	1,493
	資料館の入館料収入	524,860	622,750	636,985	779,820

3　管理経費等

単位：千円

指定管理者の収支状況　令和7年度	計画		実績	
	〈収　入〉		〈収　入〉	
	指定管理料	14,615	指定管理料	14,250
	事業収入（委託分）	30	事業収入（委託分）	49
	その他	1	その他	5
	合計	14,646	合計	14,304
	〈支　出〉		〈支　出〉	
	人件費	9,495	人件費	9,394
	維持管理経費	2,826	維持管理経費	2,765
	事業等経費	806	事業等経費	1,102
	その他	1,519	その他	1,043
	合計	14,646	合計	14,304
	〈収支差〉		〈収支差〉	
	〈収入〉－〈支出〉	0	〈収入〉－〈支出〉	0

単位：千円

管理運営に係る実質経費		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	市の収入	553	655	674	823
	（うち使用料収入）	525	623	637	780
	市の支出	14,416	19,033	19,522	18,582
	（うち指定管理料）	13,432	13,591	14,122	14,250
	収入－支出	▲ 13,863	▲ 18,378	▲ 18,848	▲ 17,759

4　業務評価

評価項目		具体的内容	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	特記事項
管理体制に関する項目	維持管理業務の実施状況	施設内の清掃を定期的に実施し、常に清潔に保っているか。	B	施設は毎日清掃し、常に清潔に保っている。また、館内を巡回し、汚れが目立つところは速やかに清掃している。	B	
		保守点検等は、協定書・業務仕様書に基づき適正に履行されているか。	B	保守点検等は協定書・業務仕様書に基づき適正に履行し、不具合等を発見した場合は速やかに担当課に連絡し、対策を協議している。	B	
		備品等は台帳を整備し適切に管理しているか。	B	備品等は市が提供する備品台帳と年1回突合し、管理している。	B	
		修繕業務は、市と協議しながら適切に実施しているか。	B	10万円以下の修繕は速やかに行い、それ以上の経費が見込まれる修繕については市に報告し、対応を協議している。	B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B	不要な場所の消灯や適切な室温管理、コピー用紙の無駄をなくすなど省エネルギーに努め、環境に配慮した施設運営に取り組んでいる。	B	
	職員配置等の実施体制	職員、人員の適正な配置がとられているか。	B	指定管理仕様書に記されている3人以上の職員を配置し、勤務に臨んでいる。	B	
		職員の研修、啓発等を実施しているか。	B	山形県博物館連絡協議会の研修会・役員会への出席や災害時対応の研修、その他有識者との懇談等を実施している。	B	
		管理に当たって必要な資格を有する者を適正に配置しているか。	B	施設管理のため防火管理者を配置し、専門職員として学芸員（美術館と兼務）を配置している。	B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	緊急時連絡網を作成し、事務局と共有して非常時に臨んでいる。	B	
		避難訓練等は実施しているか。	B	年1回、避難訓練を実施している。	B	
	サービス向上への取組状況	サービス向上や利用者増加に向けた取組を行っているか。	A	来館者に常に笑顔で接するよう心がけ、ポスター、チラシを作成して、利用者の増加に努めている。	B	
		利用者の意見を施設運営に反映させる仕組みを確立しているか。	B	アンケート用紙を受付で配布し回収箱を企画展示室に設置することにより、意見の聴取を行い、施設運営に反映させている。	B	

運営等に関する項目		苦情、トラブルに対し、適切、迅速に対応しているか。	A	職員が来館者に納得いくように丁寧に説明し、対応するように心がけている。	B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限したりしている事例がないか。	B	公の施設として公平に利用できるよう心がけている。	B	
	事業等の実施状況	事業を計画どおり実施しているか。	B	指定管理仕様書に基づく事業を計画通り実施している。	B	
		施設の設置目的を達成するため効果的な事業展開をしているか。（自主企画事業を含む）	B	申請書に提案した事業を計画通り実施している。	B	
	個人情報保護・情報公開への取組み	各種申請書類等は適切に保管しているか。	B	申請書項目ごとにファイリングし、いつでも公開できるように整えている。	B	
		利用者情報などの個人データは適切に管理しているか。	B	個人データについては漏洩することが無いよう管理している。	B	
		ホームページや広報誌等で情報提供を積極的に行っているか。	B	独自のホームページを作成し、フェイスブックと併用して情報提供している。	B	
	収支の状況	収支計画に基づき適正に運営しているか。	B	収支は月ごとに執行を確認し、行政に提出している。	B	
		経理処理は適正に行っているか。	B	月に1回、全職員で確認をし、庶務担当者の研修も行っている。	B	

施設担当課総評	施設の設置目的を十分に理解し、協定書及び業務仕様書等に基づき、適切に管理運営を行っている。 利用者の関心の高い企画展の開催や、利用者に対して親切丁寧な対応を行い、天童市の歴史や文化の理解を深める機会を提供している。 館内を常に清潔な環境に保ち、県指定文化財である建物等の景観の見学者にも対応するため、建物の維持管理及び周辺の環境整備を適切に行っている。

評価欄の記号の意味
「A」：協定書・業務仕様書等の水準を上回っている。「B」：協定書・業務仕様書等の水準を満たしている。「C」：協定書・業務仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。「－」：当該項目での評価対象外。

５　指定管理者による利用者アンケートの概要

実施の有無		
有 無	主な回答内容	企画展ごとに、来館者アンケートを実施。年間の平均評価は以下の通り。 満足：77.6%　やや満足：15.8%　普通：5.2%　もの足りない：0.9%　未記入　0.6% ・佐藤定四郎先生の貴重な資料を見ることができ、先生の植物への情熱が伝わってきた。 ・貴重な資料や若松寺参拝時には見られないものを見ることができ、新鮮だった。 ・いろいろな時代のものが一堂に会していてすばらしかった。体験コーナーもおもしろかった。 ・企画展をきっかけに資料館を訪れ、市の歴史や市章の由来などの情報にふれることができた。 ・建物が立派で驚いた。 ・展示説明は子供には難しいが背景事情を詳しく知ることができ、読みごたえがあった。 ・図録を作成してほしかった。

アンケートの集計結果等を適宜添付すること。

６　改善指摘事項

市からの指摘事項	指定管理者が行った措置
（　年　月　日）	（　年　月　日）